

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義実習
科 目 名	災害看護		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	前期	教室名	3年生教室
担 当 教 員	中原真理子	実務経験とその関連資格	医療施設にて看護師として勤務し、国内の災害救護の実施や救護班の派遣調整、平時の救護班の研修、訓練を実施していた。			
《授業科目における学習内容》						
災害看護では、近年多発化・甚大化する災害の特徴を理解し、災害サイクルに応じた看護の役割を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
学科試験は授業で毎回実施する小テストから出題						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
統合分野 看護の統合と実践[3]災害看護学・国際看護学(医学書院)						
《授業外における学習方法》						
前回の授業内容を復讐するため毎回小テストを行うので、重要なポイントを確認すること。授業では被災現場や被災者の状況を画像を通して視聴し、イメージしてほしい。被災地での看護の役割を理解するため画像を多用する予定。災害看護で必要な疾患・用語を理解できるよう意識して学ぶこと。						
《履修に当たっての留意点》						
近年、国内外においての災害が頻発している。日頃から災害の情報やニュースに関心を持ってほしい。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	1. 災害の種類と特徴を理解できる。 2. 災害情報の種類と内容について理解できる。 3. 災害看護に関係する災害関連の制度が理解できる。		テキスト DVD プロジェクター等	テキストの第2章災害看護学のB災害医療の基礎知識を読んでおく。(30分) 本日の講義をまとめて復習する。(30分)
		各コマにおける授業予定	日本を取り巻く災害の現状と課題			
第2回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	1. 災害サイクルの考え方が理解できる。 2. 災害対応にかかわる職種間・組織間連携が理解できる。 3. フェーズにおける災害医療の課題が理解できる		テキスト DVD プロジェクター等	テキストの第2章災害看護学のB災害医療の基礎知識を読んでおく。(30分) 前回の講義を小テストで復習する。(20分)
		各コマにおける授業予定	災害サイクルから考える災害医療			
第3回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	1. 災害看護の定義と役割について理解できる。 2. 災害看護の対象について理解できる。 3. 災害看護の特徴と看護活動について理解できる。		テキスト DVD プロジェクター等	テキストの第2章災害看護学のC災害看護の基礎知識を読んでおく。(30分) 前回の講義を小テストで復習する。(20分)
		各コマにおける授業予定	災害看護の基礎知識			
第4回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	1. 災害後の被災者のストレスと援助について理解できる。 2. 援助者のストレスとその軽減のための工夫について考えられる。		テキスト DVD プロジェクター等	テキストのF災害とこころのケアについて読んでおく。(30分) 前回の講義を小テストで復習する。(20分)
		各コマにおける授業予定	災害と心のケア			
第5回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	1. 看護の視点からみた災害サイクルの流れが理解できる。 2. 慢性期における健康障害と看護師の役割について理解できる。 3. 活動場所の違いにおける看護職の役割について理解できる		テキスト レポート DVD プロジェクター等	テキストの第2章災害看護学のD災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護、慢性期・復興期を読んでおく。(30分) 前回の講義を小テストで復習する。(20分)
		各コマにおける授業予定	災害サイクルの慢性期の看護			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 6 回	講 義 演 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	1. 看護の視点からみた災害サイクルの流れが理解できる。 2. 静穏期における健康障害と看護師の役割について理解できる。 3. 活動場所の違いにおける看護職の役割について理解できる。	テキスト DVD プロジェクター等	テキストの第2章災害看護 学のD災害サイクルに応じ た活動現場別の災害看 護、静穏期を読んでおく(3 0分) 前回の講義を小テストで復 習する。(20分)
		各コマに おける 授業予定	災害サイクルの静穏期の看護		
第 7 回	講 義 演 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	災害サイクルに応じた活動現場別の看護が理解できる。	テキスト DVD プロジェクター等	テキストの第2章災害看護 学のD災害サイクルに応じ た活動現場別の災害看護 の急性期・亜急性期を読ん でおく(30分) 前回の講義を小テストで復 習する。(20分)
		各コマに おける 授業予定	災害サイクルの急性期・亜急性期の看護		
第 8 回	講 義 演 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	災害サイクルに応じた活動現場別の看護が理解できる。	テキスト DVD プロジェクター等	テキストの第2章災害看護 学のD災害サイクルに応じ た活動現場別のトリアージ を読んでおく(30分)
		各コマに おける 授業予定	トリアージの基本的知識と方法について演習を通じて理解でき る。		